

# 広報119

2016秋号 vol.22



## 地域みんなで 避難所運営を!

(詳細は4ページに)

避難所生活体験(サバイバルキャンプ) 避難所運営委員会の様子  
7月16日:一関学習交流館

### ●●● 今後の行事予定 ●●●

|           |               |         |                  |
|-----------|---------------|---------|------------------|
| 1月15日     | 一関市消防出初式      | 2月18日   | 優良自主防災組織等表彰式     |
| 1月15日~21日 | 防災とボランティア週間   | 3月1日~7日 | 春季全国火災予防運動       |
| 1月17日     | 防災とボランティアの日   | 3月11日   | 一関市となりきんじょ防災会議の日 |
| 1月21日     | 危険物取扱者試験 P4参照 | 3月12日   | 防災フォーラム          |
| 1月26日     | 文化財防火デー       |         |                  |

一関市消防本部のホームページ

WEB  
で検索

一関消防

検索

火災などの災害情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

春から秋にかけての各種行事



平成28年8月8日(月) キッズ防災スクール@ひがしやま  
東山中学校生徒 1、2 年生を対象とした防災教室が同校にて開催されました。外部講師を招いて、いざというときのために防災に関する知識を深めました。



平成28年6月27日(月) 大原小学校社会科見学  
4 年生の児童が、社会科見学の一環として一関北消防署の見学を訪れ、消防車両の見学や放水訓練などを体験しました。



平成28年9月3日(土) 花泉フェスタ&消防祭  
花と泉の公園を会場に開催され、町内外から多くの方が訪れました。



平成28年8月13日(土) 纏組によるはしご乗り披露  
藤沢運動広場で開催された第 41 回藤沢野焼祭に、消防団の纏組とラッパ隊が出演しました。



平成28年9月4日(日) 一関西消防署消防フェスタ  
一関西消防署を開放して皆さんにご覧いただき、さまざまなイベントも開催されました。



平成28年9月3日(土)・4日(日)  
室根分署 救急医療週間に伴う救急街頭広報  
いわて平泉農業協同組合室根営農経済センターを会場に開催された「JAいわて平泉まつり」で救急コーナーを設け広報しました。



平成28年9月10日(土) 一関東消防署一日救急隊長  
国際医療福祉専門学校の学生 2 名が一関東消防署の 1 日救急隊長に任命され、一関東消防署、「エスピア」他で活動しました。



平成28年 9 月 6 日(火)～8 日(木) 平泉中学校社会体験学習  
平泉中学校 2 年生 5 名が、平泉分署で消防の仕事を経験しました。

※この警報音は代表例です。

ピーピーピー  
火事です。

## 緊急消防援助隊とは？

大規模な災害や事故が起きた際、全国の消防機関から集結して消火・救助・救急活動にあたる専門部隊です。英語の名称は emergency fire response teams。

被災地の消防機関だけでは対処できなかった1995年(平成7年)阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、同年6月に都道府県の枠組みを越えて創設されました。



2011年3月11日に発生した東日本大震災では全国44都道府県から各被災地に出動し、懸命な消火、救助、救急活動が行われました。



一関市消防本部・緊急消防援助隊  
(指揮・救助・消火・救急・後方支援隊が編成されています)

## 住宅用火災警報器の電池切れに注意！

- 定期的に作動確認をしましょう。
- 定期的に点検ボタンを押す(ひもを引く)などして作動確認をしましょう。
- 作動しないときは、電池がきちんとセットされているかご確認ください。
- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。
- 住宅用火災警報器にホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。定期的に掃除を行きましょう。
- 住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。10年を目安に交換しましょう。

◎総務省消防庁HP

住宅防火関係 「住宅用火災警報器を設置しましょう。」  
[www.fdma.go.jp/html/life/juukei.html](http://www.fdma.go.jp/html/life/juukei.html)

◎一般社団法人日本火災報知機工業会

「10年たったら、とりカエル。」スペシャルサイト  
<http://www.torikaeru.info/>

8月6日の一関夏まつりでは一関地域婦人消防協力隊が、設置促進と火災予防の広報をしました。



## 全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達訓練について

### 日時

平成28年11月29日(火) 11時00分

### 目的

緊急情報が確実に住民に伝達されることを確認するため、全国一斉に行われます。

### 放送機器

一関市：屋外広報マスト、FMあすも専用ラジオ  
平泉町：屋外広報マスト、戸別受信機

### 放送内容

各放送機器が自動で起動し、テスト放送である旨の放送が流れます。



## シリーズ第二十一回

## 一酸化炭素中毒について

県立磐井病院 救急科長 片山 貴 晶



冬季に多い事故に一酸化炭素中毒があります。主として炭火や練炭などの不完全燃焼が発生し、中でも練炭によるものが多く、生命の危機に陥る方も毎年約100人にいます。

血液の中には、全身に酸素を運ぶ役目をするヘモグロビンがあります。一酸化炭素は酸素に比べて二五〇倍もヘモグロビンにくっつきやすいため、一酸化炭素が体の中に入ってしまうと、酸素の運搬ができなくなります。これにより、脳や心臓など身体中の臓器が酸素不足に陥って働かなくなり、最悪の場合死に至ります。また脳のいろいろな部分に沈着しても、数週間経ってから症状が出ることも

もあり、認知症になったり、正常な社会生活を送れなくなることもあります。フラフラするめまいなどの症状は、脳に酸素が足りない極めて危険な信号です。その状態が持続すると意識がなくなり死亡します。

隣室との扉を開けただけでは濃度は下がりにせん。一酸化炭素中毒にならないためには、定期的に窓を開け換気を行って下さい。また、練炭こたつで眠ってしまうのは大変危険です。おかしいと感じたら、速やかに新鮮な空気を吸える場所に移動して救急車を呼んでください。この際、同じ環境に同程度の時間いた方も症状はなくても必ず医療機関を受診してください。

## 長島少年消防クラブが全国大会に参加

8月3日から5日の間、宮城県南三陸町で開催された「平成28年度少年消防クラブ交流会（全国大会）」に参加し、他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、災害の備えなどについて学びました。

4日に行われた合同訓練には一関地区婦人消防協力隊連合会の皆さんが訪れ、全国の参加クラブに声援を送りました。



合同訓練 障害物競争の様子（手前が長島少年消防クラブ）

## 一関市防災行政無線テレガイドが通話料無料になりました

一関市の防災行政無線で放送された内容を電話で確認できるサービスを行っております。放送内容が分からなかったり、もう一度聞きたい場合には、テレガイドの無料通話サービスをご利用ください。

### 防災行政無線のテレガイド（通話料無料）

☎ 0800-800-3174

（サイガイナシと覚えてください。）

プッシュ式電話の場合、放送内容を聞いている途中で以下の操作ができます。

- 「#」「3」……今聞いている前の放送を聞く
- 「#」「2」……今聞いている放送を最初から聞く
- 「#」「1」……今聞いている後の放送を聞く
- 「#」「0」……最新の放送を聞く

携帯電話などからも利用できます。

※県境などで県外基地局から電波を受信した場合には無料通話の接続ができません。

その場合は、従来のテレガイド 0191-25-5008（有料）をご利用ください。

## 平成28年度危険物取扱者試験（一関会場）

### 1. 試験日程

平成29年1月21日(土)

### 2. 試験会場

修紅短期大学(予定) ・駐車場あり(台数制限あり)

### 3. 受付期間

(1)電子申請

平成28年11月25日～平成28年12月3日  
(午後5時締め切り)

(2)書面申請

平成28年11月28日～平成28年12月6日  
(当日消印有効)

### 4. 試験の種類 甲種、乙種(全類)、丙種

### 5. 願書、案内等の常置場所

- (1)各消防本部、各消防署、各消防分署等
- (2)消防試験研究センター岩手県支部
- (3)県庁総合防災室

### 《問い合わせ・願書提出先》

(一財)消防試験研究センター岩手県支部  
〒020-0015

岩手県盛岡市本町通1-9-14 JT本町通ビル5階  
TEL 019-654-7006/FAX 019-622-0922

◎電子申請手続きについては、(一財)消防試験研究センターホームページをご覧ください。

<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

## 避難所生活体験（サバイバルキャンプ）が開催されました【表紙記事】

7月中旬から下旬にかけて市内4カ所で避難所生活体験（サバイバルキャンプ）が1泊2日の日程で行われ、86名が参加しました。

会場に集まった皆さんは、避難所の運営を行うための避難所運営委員会の設置、名簿作成、班編成、炊き出しや非常食等の食事準備、応急手当、救助等の研修を行い、災害時に必要な住民による避難所運営について学びました。

また、子供たちは、段ボールでの寝床やテーブル作り、ツナ缶でのランプ作りなど、楽しみながら研修に参加していました。

避難所では、避難者自身が避難所運営に参加することが重要です。来年度も開催を予定していますので、いつ起こるかかわからない災害に備えて、ぜひご参加ください。



夕食準備の様子(7月30日) 大東農村環境改善センター

発行日 ●平成28年11月10日

編集 ●一関市消防本部

〒021-0053 岩手県一関市山目中野140-3

TEL (0191) 25-0119